



豊田市立萩野小学校たより

第338号 令和7年11月10日発行

萩野の子



学校 HP 携帯サイト



スポーツフェスティバル

10月18日



当日は天気が心配されましたが、雨に降られることもなく、無事にスポーツフェスティバルを開催することができました。本年度は、スポーツフェスティバルを自分たちの手で創り上げていこうと子どもたちが企画・運営に携わる機会をたくさん設定しました。紅白対抗種目では、子どもたちの斬新なアイデアをプラスして、「借り人競走」「綱引き」を企画しました。種目の合間には、みんなで協力して道具の片づけ、準備をてきぱきと行いました。そして、最後の「紅白対抗リレー」では、テイクオーバーゾーンを利用した作戦を立て、一生懸命にバトンをつなぎ、一人一人が全力疾走しました。最後の最後まで勝敗の行方が分からず、拮抗した勝負になり大いに盛り上がりました。子どもたちは、「仲間と協力 心をついに」のスローガンのもと、みんなで協力して素晴らしいスポーツフェスティバルを創り上げることができました。

親子種目、地域種目に参加していただいた来賓・保護者・地域の皆さん、子どもたちに温かい声援を送ってくださった皆さん、本当にありがとうございました。また、早朝より万国旗やテントの準備等にご協力いただき、とても助かりました。子どもたちは、みなさんに支えられて、学校行事を通して成長しています。今後ともよろしくお願いします。



不審者対応訓練

10月28日

信
ハギノショウ

足助警察署職員の方を講師として、不審者に出遭ったときの対応を学びました。知らない人に声をかけられたときは、つかまれないように距離を保つこと、万が一つかまれて連れ去られそうになったら、大声を出し、手足をバタバタさせて抵抗すること、つかまれた手を引き離す方法などを具体的に学びました。いざとなったときに大声を出すためには、日ごろからあいさつや授業中の発言などで、しっかりと声を出す習慣をつけておくことも大切だそうです。対応訓練が始まる前



に、子どもたちが職員の方に「お願いします」とあいさつをしました。その時に、「しっかりと声が出ていてとてもいいですね」と褒められました。不審者から身を守るためには、「つみきおに」の行動をとることが大切だと学びました。警察署職員の方から「連れ去り防止読本」を配付していただきました。ご家庭でも御一読いただき、ぜひ、話題にしてみてください。

「つ」…ついていかない 「み」…みんなといつもいっしょ
「き」…きちんと知らせる 「お」…大声で助けをよぶ 「に」…にげる

教科領域等指導訪問

10月30日

進
ハギノショウ

心
ハギノショウ

3・4年生で道徳科「『まっ、いいか』でいいのかな?」を行いました。1時間の授業の中で、規則の尊重について自分の考えをもち、友達と意見を交わしながら考えを広げ、深めていきました。「きまりを守らないと、周りの人が嫌な気持ちになる」「みんながやっているからいいではなくて、自分たちはやらない方がいい。自分がやらなければほかの人はやらないかも」など、活発に



意見交換を行いました。私たち教員も、道徳科の授業において他者とかわり合い、自分の考えを広げて深めていくための手立てについて、協議会や教科領域等指導員の先生から学ぶことができました。今後も、授業力を高めるために努力してまいります。



ものづくりプログラム

11月5日

伸
ハギノショウ

親
ハギノショウ

子どもたちのものづくり体験「風で動く車をつくって走らせよう」を実施しました。ものづくりサポーター6名と地域ボランティアの西さん、鈴木さんにお手伝いしていただき、安全に楽しく車づくりを楽しみました。「風を受けて走る」工夫を考え、どんな帆にしたらよいか構想を練り、思い思いの車を作って走らせました。試行錯誤しながら改良を加えていく過程が見られました。

